

平成29年度 第1回峡東地域保健医療推進委員会 議事録

(平成29年7月18日掲載)

- 1 日 時 平成29年6月1日(木) 午後2時～午後3時
- 2 場 所 東山梨合同庁舎 101会議室
- 3 出席者 <委員>
望月清賢(代理)、山下政樹(代理)、田辺篤、寺本英樹、
許山厚、千葉成宏、中澤良英、斉藤義昭、近藤永(代理)、
小鳥居智恵子、標尚仁、雨宮栄子、渡邊初男(代理)、
植村英明(代理)、山本恭恵、石原まゆみ、古屋宏美、駒井一二美
計19名

<事務局>
峡東保健福祉事務所長他 10名
出席者計 29名
- 4 傍聴者等の数 0人
- 5 会議次第
 - 1) 開会
 - 2) あいさつ
 - 3) 議事
 - 4) 閉会

【開会】

【委員変更】

役職交代等により今年度4名の方が交代されております。東山梨地区歯科医師会長 近藤永様、笛吹地区歯科医師会長 古屋修様、笛吹市薬剤師会 標尚仁様、管内養護教諭代表 小林寿子様です。本来、交代した皆様には、知事からお一人お一人に委嘱状をお渡しするところではありますが、今回、お席に委嘱状を配布させて頂いております。ご了承ください。

それでは、早速ですが、皆様のお手元にございます次第に従いまして会を進めてまいります。

【あいさつ】

(古屋保健福祉事務所長)

峡東保健福祉事務所長の古屋と申します。みなさんよろしくお願ひいたします。委員のみなさまには本当に公私ともお忙しい中当委員会に御出席を賜り深く御礼申し上げます。また日頃より峡東地域をはじめ、本県の保健医療福祉の推進に御尽力

いただいておりますことに対しまして深く敬意を表すとともに感謝を申し上げる次第であります。当委員会ですが知事の附属機関として峡東地域の保健・医療・福祉といったさまざまな課題の情報共有、あるいは検討・協議の場でございまして、具体的には平成 25 年 3 月策定の山梨県地域保健医療計画に基づきまして、峡東医療圏において特に重点的に進めるとした、救急医療、災害医療、在宅医療、産科医療の 4 つの領域について峡東医療圏行動計画（アクションプラン）にまとめて推進を図ることとしております。こうした中でみなさまの御尽力のおかげで着実な成果を挙げていると考えております。一例を挙げるとすれば、救急医療の関係ですと救急病院を中心に確実な患者受け入れ体制の整備、あるいは消防本部と医療機関等との情報共有、意見交換会の場の設定、災害医療ですと広域的な情報伝達訓練の実施あるいは市・病院独自の訓練、あるいは医師会・薬剤師会さんとの災害協定の締結など災害対応能力の向上、整備等を進めているところでございます。また在宅医療に関しましては看護職員と介護支援専門員合同による研修会の実施、医師会さんによる他職種との勉強会が行われて、顔の見える関係づくりが進められていることと思っております。それから産科医療ですと、今日開院となりますが山梨市立産婦人科医院の開設といったことが挙げられるかと思っております。今後におきましても、地域包括ケアシステムの構築あるいは地域医療構想の実現といった様々な課題に対しまして、総合的に対応していく必要があるかと考えております。委員各位におかれましては今後引き続きの御尽力を賜りますよう厚くお願い申し上げます。なお、本年度現行計画の見直しのタイミングになっております。これまでの取り組みの評価ですとか、今後の取り組みの方向性なども含めて濃密な会議となりますよう、委員の皆様のご協力をお願いしまして、簡単ではございますけれども御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(田辺地域保健医療推進委員長挨拶)

みなさんこんにちは。躍動の季節を感じたような気がしますが、むしろ夏が来たような感じがする気候になってしまっているわけでありまして。本日は大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。御紹介いただきました、会長をさせていただきます、甲州市の田辺でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。先ほど司会からもまた古屋所長からもお話しがありましたが、当推進委員会の目的が紹介されましたが当委員会は峡東地域の行政機関を始め保健医療関係者等が一堂に会し、情報を共有しつつ、今後の地域の保健医療の在り方や方向性を検討協議する場となっております。この案内のとおり、峡東地域の高齢者率は県平均と比べて高い状況にありますが、人口減少高齢化の進展とともに疾病構造も変化をしており、医療面においてもより入院医療から在宅医療へのニーズへの対応や医療と介護の連携など今後ますます重要な課題となってきております。こうした中、現地域保健医療計画の峡東医療圏の行動計画として、救急医療、災害医療、在宅医

療、産科医療の4分野を位置付けておりますが、いずれも地域の課題に密接に関係しており、今後もしっかりと取り組んで行かなければならない課題であると認識をいたしております。また、本年度は現行の保健医療保健計画の最終年度でありますので本日は峡東地域の行動計画の取り組み状況や評価についてもご協力をいただくこととしております。つきましては、委員のみなさまには本日の会議が有意義な会議となりますよう積極的なご意見をいただくとともに円滑に運営ができますようご協力をお願い申し上げます。私からの御挨拶とさせていただきます。本日は大変ご苦労さまでございます。よろしくどうぞお願いいたします。

【議事】

1) 会議に付した事案

- (1) 病院群輪番制病院運営事業について
 - ア 平成28年度収支決算
 - イ 平成29年度収支予算(案)
- (2) 山梨県地域保健医療計画峡東医療圏行動計画(アクションプラン)の実施状況について
 - ア 平成29年度の取り組み内容について
 - イ 現行計画の評価と次期計画について
- (3) 次期医療計画の策定について
- (4) その他

2) 議事の概要

- (1) 病院群輪番制病院運営事業について
 - ・病院群輪番制病院運営事業の平成28年度収支決算及び平成29年度収支予算(案)について
(事務局から資料1により説明)
監事を代表し、雨宮委員から監査報告

(特段の意見なし)
- (2) 山梨県地域保健医療計画峡東圏域行動計画(アクションプラン)の実施状況について
 - ・平成29年度の取り組み内容について
(事務局から資料2、3により説明)

【質疑】

①救急医療

(議長) 今年度の取り組みで内科系と外科系の役割の検討を掲げていますが、その内容について御紹介いただけますか。

(委員) 二次救急の対応の充実を目標にして現在、当直1人と副当直1人という体制にしていますが、内科系のドクターの日には副当直は外科系のドクターを中心にし、できるだけ内科・外科両方が当番に当たることを第1にやっております。副当直は午後9時～10時くらいまでは病院の中において、それ以降はオンコールで対応するという形でやっております。

(議長) 救急委員会での情報共有や救急隊員との合同研修会に取り組みの内容についてご説明いただけますか。

(委員) 病院と消防隊との情報共有ですが、年間のお断りの案件ですとか、件数のデータをお互いに取り合っております、その内容の確認を含めてすり合わせをしております。消防本部の数字と病院の数字について数字だけを見ると合わないこともあり、実際にどのようなことが現場で起きているのかという消防隊の方々と病院の現場、当院の方からは医師、看護師、事務の現場の人間達が消防署の方へ出向いて行って議論をして、どういうときにお断りをしてしまっているのかだとか、本来受け入れられるはずなのに、こういうことがあってうまく受け入れができなかった、というようなことを踏まえつつ調整することで少しでも受け入れ率を上げていくための情報共有を、先日、既に1回行わせていただいております。その中でいろいろなことが見えてきておりますので、今後こういったことを引き続き継続していきたいと考えております。以上です。

②災害医療

(議長) 災害発生当初の各医療機関の安否確認、被災状況シートを作成なさっているようですが、御紹介いただけますか。

(委員) これまで災害が発生して間もない超急性期は各医療機関の安否確認とか被災状況を確認する、そういった情報の把握であるとか、情報を収集する手段というものがなかったので、今回それを作成することとしました。以前に、保健所長さんからもご助言をいただいて、急性期に細かいものでは使いづらいだろう、シンプルのものがよいだろう、ということで極めてシンプルなもので4つの項目を考えております。まず1つは医療機関の院長本人の身体的被害があるかどうか、2番目に診療が可能かどうか、3番目に調剤薬局、門前薬局の機能が可能かどうか、そして最後の4番目として今後の要請に応じ

て市の救護所への出張が可能かどうか。以上のようなものを FAX で医師会長の本部に送ってもらうようにしようと考えております。以上です。

③在宅医療

(議長) 在宅医療は介護との連携推進がかかせませんが、他職種連携の取り組みについて御紹介いただけますか。

(委員) 他職種連携につきましては、長寿介護課が中心となりまして平成 28 年 12 月に在宅医療介護連携推進協議会というものを立ち上げました。医師会、歯科医師会、訪問看護、介護、看護協会、歯科衛生士会等 20 人以下の会議になります。年に 2~3 回ということで開催しております。またその準備的な会議として作業部会を持っていて学習会等を行っております。また介護保険が始まった当初から事業所連絡会というのがありまして、それは合併後も定期的開催をしております。

(議長) 在宅医療と介護を語る会を継続実施しておりますが、その内容についてお話しいただければと思います

(委員) 在宅医療と介護を語る会は、医療と介護の連携における課題の抽出と対応策の検討を目的として、平成 28 年は 4 回にわたり実施をしてきました。本会には医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療関係者、それから介護事業所の職員など約 130 人の参加をいただきまして、市の課題を検討するとともに自分たちの取り組みの内容につきましても協議を行ったところであります。なお、現在につきましても月 1 回集まりまして、約 40 名位の参加者が集い医療支援を検討するグループ、食事と口腔ケアについて考えるグループ、職種を超えて自分たちのスキルアップを目指しながら学ぶグループの 3 つに別れて活動を継続しております。今年度につきましても山梨市地域ケア会議におけるネットワークの構築と地域課題の発見、地域づくり、市民開発を持つ会議として活動を継続していくつもりであります。

(議長) 糖尿病の重症化予防の事業の内容について教えてください。

(委員) 糖尿病対策の取り組みについて大きく 4 つの内容について説明させていただきます。まず 1 つ目として糖尿病予備群の対象者に糖尿病予防としてベースアップ教室を行っております。対象者は 40 歳から 64 歳で、健診の結果にて空腹時血糖、HbA1C が基準に該当する方で、事前検査として OGTT 検査を実施しております。糖尿病境界型の対象者にも予防教室にて 1 年間支援を

しております。また、支援を実施していく上で近隣の糖尿病専門医にご協力をいただき、年度末にはご協力をいただいた糖尿病専門医の先生への報告検討会を実施しております。次に2つ目として、健診結果の血糖値が医療受診勧奨の方へは健診結果説明会にて受診勧奨を実施しております。受診経過の確認が必要な方には、医療機関への依頼状を添付し、その後依頼状の返信がない方へ受診勧奨を行っております。また、治療中や治療歴があっても血糖値が高値の方へは結果説明会にて健康相談や受診状況の確認をさせていただいております。3つ目に、糖尿病治療中断者への再受診勧奨事業を実施しております。医療健診データの分析から生活習慣病治療中断者を抽出し、うち糖尿病治療中断者を明確にし、再受診勧奨及び健康相談を行っております。最後に糖尿病性腎症、重症化予防への取り組みとして、かかりつけ医、行政が連携して血糖コントロール調整の支援ができるよう、糖尿病手帳を使い、市保健師、管理栄養士等が面接や電話等で運動食事の指導を行っていきたいと考えております。以上が平成29年度の糖尿病対策の取り組みについてとなります。よろしくお願いいたします。

④産科医療

(議長) 本日、山梨市立産婦人科医院が開院されると伺っておりますが、状況について御紹介いただけますでしょうか。

(委員) 本日、公設民営の有床産婦人科医院として開院をいたしました。明日から診療がスタートすることになりますが、施設の管理につきましては、医療法人東雲会、理事長を中村先生が務めておりますが、指定管理者として市が管理を行って行きます。診療所としては最大の19床のベッド数があります。医師が4名おりまして、14名の助産師を含めます30名のスタッフで運営していくこととなります。市といたしましては、妊娠出産包括支援事業の3つの事業を予定しております。1つ目は産後間もない母親の心身のケアや育児サポートを目的に、産後4ヶ月までの母親と乳児を対象に宿泊型の産後ケア事業を委託によって実施していきます。2つ目は産前産後サポート事業の訪問型といたしまして、産前2回産後2回、助産師が訪問し妊産婦に対し個別に支援をしていきます。これには市立産婦人科医院の助産師も派遣して実施をしていきます。また、従来通り市が委嘱した助産師なども訪問することとなります。3つ目としましては、デイサービス型といたしまして、当院の多目的室を活用して市の保健師等が利用者の相談に応じて妊産婦の孤立感の解消を行うという事業をやっていく予定であります。

- ・ 現行計画の評価と次期計画について
（事務局から資料4により説明）

（特段の意見なし）

- （3）次期医療計画の策定について
（事務局から資料5により説明）

（特段の意見なし）

- （4）その他
（特段の意見なし）

【閉会】